

# 家の 畑 報 広

第44号

令和3年1月28日

発行：高知市春野町弘岡下2454-28

多機能型障害福祉サービス事業所・涅槃の家

TEL 088-894-5100

理事長：氏原 嗣志 管理者：大石 和成



## 丑年の初めに

理事 長見 勝次郎

新年あけましておめでとうございます。

今年は、例年とは違い、随分と静かなお正月を迎えられたのではないのでしょうか。昨年の新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの生活は一変しました。三密を避け、マスクの着用、うがい・手洗いの励行、会食や移動の自粛などで、私たちの生活は我慢を強いられ窮屈なものとなりました。

私たちの事業所においては、三密を避けることが難しいところではありますが、感染者を出さないよう細心の注意を払い努力をしてまいりました。その結果、例年でしたらこの時期は、風邪やインフルエンザによる欠席者が多くなり、閉所を余儀なくされることもありましたが、そのようなこともなく、利用者の皆さんや職員は、全員が元気に活動しています。しかし、新型コロナウイルスの影響で、毎回楽しみにしている地域との交流や社会見学などができなくなったり、作業の受注が少なくなったりして、利用者の皆さんは大変残念な思いをされたのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの一刻も早い終息と共に、通常の生活が送れるよう願うばかりです。

さて、昨年は、生活介護事業の人員を増やして支援体制の強化を図ったり、グループホームの開所日数の増加や支援員の増員を行ったりして、利用者の皆さんやご家族の皆さんのニーズにこたえるべく改善を進めてきました。今年の三月には、昨年より進めて参りました新グループホームが完成します。体験入所も含め定員が二十名近くとなり、グループホームでの個々の支援も難しくなることが予想されます。

従来から、介護分野での人材不足が言われている中で、これから支援員の確保や入所者の募集、利便性の向上などの課題は山積しています。それらの課題を解決するために職員の努力は勿論、関係者の皆さんのご協力も願って止みません。

今年が丑年です。丑年は十二支の二番目の干支であることから、前年に播いた種が芽を出して成長する時期と言われています。今年も早々に、結果を求める時期ではなく牛歩のごとく、コツコツと目の前の仕事をこなし、将来の成功を夢見て努力を積み重ねる時期だと考えるとよいようです。

新年明けまして  
おめでとうございます

管理者 大石 和成

今年、丑年です。牛は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物で、大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振り（芽が出る）」を表す年になると言われています。

昨年は、コロナウイルス感染症の影響で涅槃の家も行事を縮小したり変更したりで大変な年でした。また、国においても、その施策がコロナ感染対策や関連した経済対策などが中心で、障がい者の為の施策があまり見られなかったようにも思います。

当法人においては、昨年は「利用者サービスの向上と経営の安定」を掲げ、運営の見直しを始めたところです。その一つとして、グループホームの運営の見直しを行いました。課題も多く、安定した運営には、まだまだ時間がかかりそうです。また、昨年末に着工し本年4月にオープンを予定しています。グループホームにつきましても、準備をしなければなりません。本年も、まだまだ我慢の年になりそうで、職員一同、より一層の努力が必要だと思えます。

最後になりますが、丑年である本年が利用者の皆様や保護者の皆様にとって、より一層の発展の前触れになりますように、また本年の我慢と努力がねはんの会にとって課題の解決に向けた第一歩となることを願っています。

## 第二十四回 高知県障害者美術展

それぞれの思い考えを筆に取り、個性の詰まった作品が完成し、出展しました。

十一作品の受賞が決まり写真の部では受賞及び審査員の総評で一言葉をいただくことができました。

### ●書道の部（入選）

「彩葉」……………上田 祥子

「花」……………長谷川詩乃

「雨ニモマケズ」……………大里 美欧

「太陽」……………吉本 嘉顕

### ●写真の部（入選）

「木のしゃしん」……………山本 幸正

### ●絵画の部（入選）

「宮地無線の店員さん」……………長谷川詩乃

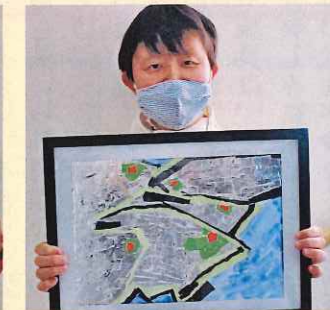
「魚と花と犬」……………山下 茂

「おひめさま」……………吉本 嘉顕

「四万十川のアカメ」……………中岡都実子

「世界の人びと」……………池上 拓海

「霸王の迷宮」……………岡崎 友輔



## 新人 紹介



11月より支援員として働かせていただいております  
吉良 勇人と申します。  
利用者さんが楽しく過ごせるよう頑張りたいと思います。  
よろしく願いいたします。

# 南国市十市の畑

らっきょう定植9月  
収穫は夏かな…



ここ数年は豊作に恵まれず、昨年の収穫もやや不作の年となりました。毎年農業の難しさを痛感しながら精進を重ねていき、この日を迎えます。種は一昨年前から育てた二年物を使い、涅槃の家の伝統を後に繋げていけるよう、みんなで心を込めて植えています。土に触れることは、その恵みに感謝をする上で大切なこと。そして何かを学び、多くのことを感じ取っていきます。みんなで同じ工程に携わりながらも、それぞれ違う思いを込め、立派ならっきょうへと育ててくれることを願ったことでした。

そして同じように恒例の作業として、甘蔗（サトウキビ）の収穫・加工があります。県下で生産しているのは主に芸西や大方が盛んで、涅槃の甘蔗も十市の畑で砂糖になるその日を待ち望みながら、大きく育てています。収穫は例年なら二日間位で行いますが、今年度は一日で終わることができました。保護者の方々にもご協力頂いています。製糖は、夜明け前からの作業、寒い中でも工場の中は熱気に包まれ、この日も夕方近くまで掛けて、形になっていく黒砂糖に心を込めました。



葉を取り除き茎だけにします



茎を集め所定の場所へ



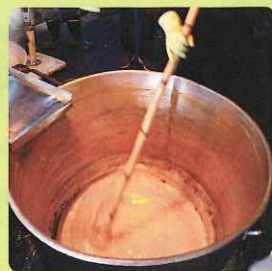
大根も収穫したよ！



準備 OK! さあ製糖工場へ



圧搾機で切断、粉碎して搾りだします



不純物を除去したしぼり汁を煮詰めます



ヘラで粒状にします



深い味わいで香りと甘さが口に広がります  
今年もおいしくできました



ミネラル分が豊富で栄養価の高い黒砂糖  
ぜひ味わってみてください

ようこそ高知県沖縄三線愛好会様



11月の土曜開所日に「高知県沖縄三線愛好会」の皆さまが演奏に来て下さいました。沖縄の海を思わせるような音色に乗って演奏がスタート。唱歌「ふるさと」の演奏では、多くの利用者さんが元気に合唱しました。ラストの曲では陽気なリズムに乗って何人もの利用者さんが踊りだし、本当に楽しい時間となりました。ありがとうございました！！

クリスマス



サンタブーツのスイーツデコや厚紙で作った小さなツリーを張り合わせ大きなツリーを作りました。同じ材料でも個々の持ち味を出しながらひとつずつ進めていきました。完成が近づくにつれて、わくわく感もありクリスマスを感じながら楽しむことができました。



これからも利用者さんの日常生活の向上に努め支援を行います。笑顔をお届けしていきます。

濱崎



ねはんの会 QRコード

涅槃の家 高知

検索

編集後記

新しい生活様式が基本となり、おうち時間も増えたのではないのでしょうか。事業所でも「三密」を避けた日中の活動に取り組む必要がある中「十市の畑」は広々と活動ができ、積極的に行動する利用者さんも多く、マスクの下の笑顔を感じることができました。

ご厚意

(寄贈物品等八月〜十二月)

- 一、 金一封 須崎青果様
- 二、 クリスマスプレゼント 高知信用金庫様
- 三、 食料品 竹内明夫様
- 四、 金一封・クリスマスケーキ 保護者会様

心温まるご厚意  
ありがとうございました

